

① 高性能スマート機械導入モデル経営体支援事業

当初

農産園芸課 40,000千円

【財源：国庫(デジ田交付金)、宮崎再生基金)】

事業の目的

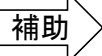
土地利用型農業経営体や農作業受託組織は、作業の効率化や熟練オペレータの不足が課題となっており、規模拡大に支障をきたしている。このため、他県の事例を参考に、近年、自動化の開発が進んでいる高性能なスマート機械の導入を支援し、更なる作業の効率化と人材確保を進め、地域農業の発展・維持を図る。

事業の概要

(1) 事業内容

- ・高性能スマート機械の導入支援 40,000千円（補助率 1 / 2 以内）
概ね20ha以上の経営体、農作業受託組織等に対し、自動運転が可能な高性能スマート機械の導入支援を行う。

(2) 事業の仕組み

県  経営体、受託組織等

(3) 成果指標

土地利用型大規模経営体数（30ha以上）現状（令和4年度）17経営体 → 令和8年度 25経営体

事業の期間

令和6年度

【別紙】**新**高性能スマート機械導入モデル経営体支援事業

現状と課題

・担い手の高齢化による面積と農家数の減少

- ・土地利用型経営体や農作業受託組織への農地集積が進む一方で、それらの経営体では、熟練オペレーターの不足や作業効率が低く規模拡大が進まないことが課題。

宮崎県	H25	H30	R5
水稲面積(ha)	24,123	23,731	22,722
水稲農家(戸)	40,513	34,381	27,939

事業対象と導入する機械

対象：概ね20ha以上の土地利用型経営体や農作業受託組織

導入する機械：自動操舵トラクター、自動田植機、自動収穫機
レーザーレベラー



自動操舵トラクター

事業実施により得られる成果

- ・自動化された高性能スマート機械を導入することで、省力化が図られ、また、作業に不慣れなオペレーターでも、熟練者のような作業が可能。
- ・農業未経験者でもオペレーターとして採用が可能。
- ・レーザーレベラーにより、小規模農地の合筆の自力施工が可能になり、ほ場面積の拡大による作業効率の向上につなげる。



レーザーレベラー

作業の効率化と人材確保による、地域農業の発展・維持